

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2021年度)

(1) 教育活動連携事業部会

事業計画名	① 単位互換の推進
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。(取組 1)
取組の概要	<p>目標 (達成すべきゴールイメージ)</p> <p>プラットフォームで共同開発する授業科目の実施 2025 年度に計 2 科目)</p> <p>ちば産学官連携プラットフォーム参画校及び市内の国公立大学の学生が、地域の特性を活かした授業プログラムを通じて、共に学び、交流しながら、相互に学修成果を高めることができるような工夫を行うことで、千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。</p> <p>具体的内容</p> <p>単位互換推奨科目の設定と共同授業科目の開発</p> <p>①単位互換推奨科目に関する共通シラバスを作成し、WEB上で公開する。</p> <p>②基盤教育・普遍教育の単位互換制度運用に向けた協議を行う。</p> <p>③フィールドワーク等での共同プログラムを開発するとともに、その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みを検討する。</p> <p>④単位互換のためのプログラム開発や、共同利用できる施設・設備も検討する。</p> <p>⑤単位互換を利用して他大学の単位を履修する際、CAP制に関する課題について部会で検討する。</p> <p>年次計画</p> <p>2021年度 単位互換推奨科目： 4 5 科目、共同授業科目： 1 科目</p>
進捗状況	<p>1) 2021年度(前後期) 66科目の単位互換推奨科目と、共通シラバスを作成し、WEB上で公開した。</p> <p>2) 基盤教育・普遍教育の単位互換制度運用に向けた協議は検討中である。</p> <p>3) 参画校の教員によるオンデマンド型授業やフィールドワーク等で構成される共同プログラム「まちづくり論」を開発した。また、その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みは検討中である。</p> <p>4) 単位互換のためのプログラム開発や、共同利用できる施設・設備は各校設定済みである。</p> <p>5) 単位互換を利用して他大学の単位を履修する際、CAP制に関する課題については検討中である。</p>

点検・評価	<p>2021年度に設定した「取組の概要」は、大半実施したので、評価できる。</p> <p>また、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、各校の授業形態がオンラインに変更になる等、いまだに大きな影響が残っている。</p> <p>コロナ禍の状況を見極めつつ、中長期計画にも記載のある「②基盤教育・普遍教育の単位互換制度運用に向けた協議を行う。」、「③その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みを検討する。」、「単位互換を利用して他大学の単位を履修する際、CAP制に関する課題について部会で検討する。」について、今後の部会で協議を進める必要がある。</p>
-------	---

事業計画名	② 共同 IR 体制の構築と推進
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	「教育の魅力」の向上（取組2）
取組の概要	<p>目標（達成すべきゴールイメージ）</p> <p>千葉市内の高等教育の課題を明らかにするために、共同 I R（学生調査等）を実施する。調査結果に基づき、ちば産学官連携プラットフォーム参画校が共同し、連携しながら、千葉市内の高等教育の課題を解決することを目指す。</p> <p>具体的内容</p> <p>ちば産学官連携プラットフォーム参画校の I R 担当者による意見交換、各校に共通項目の調査を行うことで、共同 I R 体制の構築を行う。また、毎年度共同調査を実施し、結果を経年観測する。</p> <p>共同調査の結果は、ちば産学官連携プラットフォーム運営委員会に報告し、プラットフォーム事業計画の実施、評価及び計画策定に活用する。</p> <p>年次計画</p> <p>2021 年度 ① 学生意識調査の実施、② 卒業時の学生満足度調査の実施</p>
進捗状況	<p>① ちば産学官連携プラットフォーム参画校の学生意識調査アンケートを実施した。</p> <p>② 教育事業部会参画校の 2021 年度の卒業生を対象に、試験的な卒業時の学生満足度調査を実施した。今回の実施結果を検証しながら、2022 年度の満足度調査に向けて、さらなる改善策を今後の部会で協議を進めていく。</p>

点検・評価	年次計画にある、「①学生意識調査の実施」、「②卒業時の学生満足度調査の実施」について実施をした点は評価できる。後者については、教育部会参画校が試験的な独自調査を行ったため、今後は具体的な実施方法を部会の中で協議を進める必要がある。
-------	---

事業計画名	③ 産学官・地域連携教育の検討
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。(取組 1)
取組の概要	<p>目標（達成すべきゴールイメージ）</p> <p>産学官連携やアカデミックリンク活動を通じた学修機会の提供 ちば産学官連携プラットフォーム参画校及び市内の国公立大学の学生が、産学連携事業やアカデミックリンクの活動を通じて、共に学び、交流しながら、相互に学修成果を高めることができるような工夫を行うことで、千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。</p> <p>具体的内容</p> <p>産学官連携事業やアカデミックリンク活動の開発と実施（2025 年度に計 8 事業）</p> <p>①IoT、情報技術等を活用した学修を共同で行う仕組みを構築できるよう、産業界と協議を行い、実施する。</p> <p>②「千葉市こども若者市役所」の取り組みや、千葉県立生浜高等学校との連携を通じて、高大連携や学生の交流を進めるとともに、大学・短大の施設を地域の拠点としながら、地域や産学官連携活動を推進する。</p> <p>③ちば産学官連携プラットフォームに参加する大学・短期大学の学生の交流機会として、交流イベントをはじめ、研究・活動報告会を開催する。</p> <p>④社会人のセカンドキャリア形成支援のためのプログラム「戦略経営・事業創発マネジメントスクール」を開講する。</p> <p>⑤産学官地域連携教育を推進するためのFD・SD研修会を開催する。</p> <p>⑥地域における教育活動支援として「市内高等学校への福祉的支援の在り方に関する検討委員会」を推進する。</p> <p>年次計画 2021 年度 6 事業</p>

進捗状況	<p>①IoT、情報技術等を活用した学修については、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、具体的なプログラムの実施にあたり、産業界との協議が進んでおらず、実施できていない。</p> <p>②「千葉県子ども若者市役所」では、のべ315名が参加した。(12回のワークショップに、2回の夏休み子ども教室、2回の子どもメリクリカフェ、1回のちばの野菜スタンプラリーの計17回の活動)</p> <p>本取組や千葉県立生浜高等学校との連携を通じて、高大連携や学生の交流を進めるとともに、大学・短大の施設を地域の拠点としながら、地域や産学官連携活動の協議が開始した。</p> <p>③ちば産学官連携プラットフォームに参加する大学・短期大学の学生の交流機会として、研究・活動報告会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。</p> <p>④社会人のセカンドキャリア形成支援のためのプログラム「戦略経営・事業創発マネジメントスクール」を開講した。</p> <p>⑤産学官地域連携教育を推進するためのFD・SD研修会を4回開催した。</p> <p>⑥地域における教育活動支援として「市内高等学校への福祉的支援の在り方に関する検討委員会」を部会内に立ち上げた。千葉県立生浜高等学校にて、高校生への福祉的支援を目標とした「校内居場所カフェ」を5回実施している。</p>
点検・評価	<p>2021年度に設定した「取組の概要」は、大半実施したので、評価できる。中長期計画にも記載のある「①IoT、情報技術等を活用した学修を共同で行う仕組みを構築できるよう、産業界と協議を行い、実施する。」については、コロナ禍の状況を見極めながら、適宜、進めていく。</p>

(2) 学生募集連携事業部会

事業計画名	PF 参加大学・短期大学合同進学説明会
事業部会名	学生募集連携事業部会
幹事校	千葉明德短期大学

活動指標	「学生募集力」の向上（取組1）
取組の概要	プラットフォームに参加している千葉市内の大学・短大が参加。各校のブースを設置し、個別相談に対応する。参加者は、高校生・保護者等を想定。とくに、千葉市内の大学・短期大学の魅力を知ってもらい、学生募集力の向上につなげていく。
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年4月8日（水）にちば産学官連携プラットフォームとして各ブースを設置し幕張メッセ会場のガイダンスを実施。 ・2022年3月16日（火）に敬愛学園高校において合同進学ガイダンスを実施。 ・2022年3月29日（火）に千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部において「ちば産学官連携プラットフォーム合同模擬授業進学ガイダンス」を開催。高校1年生・2年生の計20名が参加（うち何名かは保護者同伴）。同時開催としてプラットフォーム参加校による個別相談会も実施。
点検・評価	中期計画どおり進捗している。進学ガイダンスの実施回数は昨年度同様。ガイダンスの種類についても単なる学校説明・進学ガイダンスだけではなく、各分野の授業を体験できる「模擬授業」を中心としたガイダンスも実施することができた。動員数を増やすことが課題。チラシの作成を早め、周知する期間を増やす等改善が必要。

事業計画名	PF 参加大学・短期大学合同高校訪問
事業部会名	学生募集連携事業部会
幹事校	千葉明德短期大学
活動指標	「学生募集力」の向上（取組2）

取組の概要	<p>学生募集連携事業部会の担当者を中心に千葉市内の高校において共同での高校訪問を実施。各高校とプラットフォーム各大学・短期大学とのさらなる高大連携や教育政策の促進について意見交換を行うことを目的に実施する。</p>
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年6月28日(月)に桜林高校へ合同高校訪問を実施。プラットフォーム加盟校の7校が参加。2部制でプラットフォーム概要説明や意見交換等を行った。 第1部：桜林高校教員研修会での「ちば産学官連携プラットフォーム」の概要説明および活動紹介（教員40名参加） 第2部：桜林高校進路指導部の先生との情報交換会 <ul style="list-style-type: none"> ・桜林高校の現況についての報告 ・参加各校より、オープンキャンパス概要や入試情報の紹介 ・進路指導部の先生方からの質問 ・2021年12月1日（水）に千葉聖心高校へ合同高校訪問を実施。プラットフォーム加盟校の7校が参加。千葉聖心高校の現況について、プラットフォーム加盟校の最新情報提供、意見交換等を行った。
点検・評価	<p>中期計画どおり進捗している。学生募集環境がさらに厳しくなることが予想されるため、2022年度は実施済みである桜林高校、千葉聖心高校との関係強化はもちろん、さらに千葉市内の別の高校へも規模を拡大し、学生募集力を高めることを目指していく。</p>

(3) 就職活動連携事業部会

事業計画名	地元就職応援セミナーin ちば
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上

取組の概要	2022年3月に実施予定。千葉県経営者協会等と共同での実施。千葉市内・県内の企業20～30社を招へいし、ちば産学官連携プラットフォーム加盟校の大学の学生（2023年3月卒）を対象に合同会社説明会を実施する。
進捗状況	2022年3月3日（木）に幕張メッセ国際会議場において千葉県大学就職指導会主催の【千葉県29大学合同就活応援セミナー】へ協力という形で事業を実施した。なお、当日の参加者数は千葉県内在学・在住の学生を中心に347名が参加した。なお、当日の参加企業は70企業。
点検・評価	就職支援連携事業部会加盟5大学のうち千葉経済大学短期大学部を除く4大学は千葉県大学就職指導会加盟校であり、神田外語大学は千葉県大学就職指導会会長校でもある。学生に多くの合同会社説明会に参加させる方針から、一つの合同会社説明会でより多くの企業の説明を聞ける接触機会を増やすことが重要と考え、千葉県大学就職指導会の合同会社説明会に協力するという方針とした。当日は各大学から2名以上のスタッフが参加した。結果として感染に配慮しながら安全な説明会を行うという良い機会が提供出来たと考えている。結果として2022年2月の新型コロナ禍の第6波の高いピークをずらし、学生に対し良い機会を提供することが出来た。

事業計画名	合同インターンシップ【ちば仕事研究塾2021】
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上 (KPI：合同就職セミナーのうちの1件としてカウント)

取組の概要	2021年8月に実施予定。千葉県経営者協会・千葉県中小企業家同友会等と共同での実施。千葉市内・県内の10社前後の企業と合同でちば産学官連携プラットフォーム加盟校の大学の学生(2023年3月卒)を対象に合同インターンシッププログラムを実施する。(1週間~2週間を予定)
進捗状況	2021年夏期休業期間を想定し県内各種経済団体と合同でのインターンシップを予定していたが、新型コロナ禍で企業の対面での受入が難しい中、代替案として県内企業3社によるオンラインでの企業研究セミナーを開催した。2021年9月18日(土)は【100年企業2社の伝統と改革】というテーマで株式会社飯沼本家と株式会社リーガルコーポレーションの講義、2021年10月8日(金)は【オンリーワンの技術で未来を切り開く】岡本硝子株式会社による講義を実施した。
点検・評価	当初予定していた合同インターンシップは実施出来なかったが、代替案のオンライン講義には学生・教職員を併せ、第1回目の9月18日(土)は12大学・大学院66名、第2回目の10月8日(金)は合計9大学院・大学・短期大学の学生合計50名以上の学生が参加した。「学生の企業研究」という目的は十分達成できたと考えています。

事業計画名	千葉県内の4年生内定者と在校生との内定者報告会兼合同交流会
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上 (KPI: 合同就職セミナーのうちの1件としてカウント)
取組の概要	2022年2月に実施予定。千葉市内、千葉県内の企業に内定した4年生と在校生との交流会。さらに企業の採用担当者も参加してのイベント。4年生の就職活動の報告を通して、就職準備、企業研究の方法について学ぶ他、企業の採用担当者から求める人材像や企業の事業内容などを聞くことにより、学生のキャリア意識の育成につなげる。

進捗状況	当初計画よりも早い時期、2021年12月1日（土）に千葉市内に本社を有する企業5社（東京ガスライフバル千葉株式会社、株式会社フロンティア、二宮産業株式会社、スターツアメニティー株式会社、株式会社協同工芸社の採用担当者、内定者と就職支援連携事業部会加盟大学の在校生との交流会を実施した。
点検・評価	当日は千葉市役所から千葉市で働く魅力について講義を行ってもらった後に、参加企業5社の採用担当者から各企業の紹介を行ってもらった。さらに各企業に内定した4年生からは就職活動や企業を選択する上での決め手などについて説明をしていただいた。その後は3つのグループに分かれ、グループディスカッションを実施した。当日は企業、内定者、在校生（10名）を併せ、合計25名の参加で行われた。当初想定していた参加者数には到達しなかったが、参加者はより詳しく企業及び内定者の話を聞くことが出来、参加者にとっては有意義なプログラムになったと考えます。

事業計画名	留学生対象1日就職支援セミナー
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上 (KPI：合同就職セミナーのうちの1件としてカウント)
取組の概要	2022年2月に実施予定。留学生の日本、特に千葉市内、千葉県内での就職支援のために実施する。日本での就職活動の方法や、履歴書の作成、面接の受け方の注意点などについてセミナーを行う他、千葉市内、千葉県内で外国人留学生の採用活動を行っている企業の紹介などを行う。
進捗状況	本件、新型コロナ禍において加盟大学に在学する3～4年生がほぼいないという状態であったため、2021年度の実施は見送った。

点検・評価	2021年度は実施しなかったが、新型コロナ禍で千葉県の大学に在学する留学生がいけないという状況であり、実施見送りについては止むを得ないと考えています。
-------	---

(4) 生涯学習連携連携事業部会

事業計画名	①「ちば学」リレー講座（重点課題）
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4. 「他世代の学び」の機会の提供（取組2） 共同で運営する社会人向け講（ちば学）を開催する。
取組の概要	当 PF 各参加校から 1 名ずつ教職員の派遣を受け、千葉（市）に関する様々な分野の講座をリレー講座として市民に提供する。 講座数としては 10 講座程度（月 1 回程度、土曜日午後）を想定する。 （会場）敬愛大学生涯学習センターを会場とするが、千葉市生涯学習センター、千葉商工会議所での開催も検討する。 （講師）各校教職員のほか、千葉市および千葉商工会議所からの招聘も推進。
進捗状況	年間 11 回の「ちば学リレー講座」を企画・実施した。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、オンデマンドのみでの開催回もあったが、のべ受講生数は 256 名の参加を得た。 昨年度に続き、包括連携協定を締結する千葉市からも講師を招くとともに、千葉市生涯学習センターとの共催も実現、さわやかちば県民プラザ「第 3 回ちば講座アワード」でも入賞するなど、成果を上げた。
点検・評価	本講座は 3 ヶ年間の実績を重ね、市民の学びの意欲を高める講座を提供できるようになった。コロナ禍の影響はあるものの、2022 年度講座も計 11 講座を用意し、講座の魅力の発信と内容の充実に一層努める。

事業計画名	②共同で企画する公開講座・生涯学習講座等の開催
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4. 「他世代の学び」の機会の提供（取組1） 共同で企画する公開講座・生涯学習講座等を開催する。
取組の概要	当 PF 参加校が独自に企画する講座等について、 ●当 PF 共催講座の設定を促進する ●当 PF 参加大学等から、各校の主催する講座に教職員の派遣を促進する。 これらの事業遂行のため、各大学・短期大学の講座担当者との連絡強化を図る。
進捗状況	共同で企画する講座は、コロナ禍の影響もあり実現しなかった。 ただし2022年度に対面による公開講座を再開した PF 参画校が増えているので、2022年度後期の実現に向けて、部会での検討を進める。
点検・評価	未達成

事業計画名	③千葉市民の自主的な学び促進事業
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4. 「他世代の学び」の機会の提供（取組1） 共同で企画する公開講座・生涯学習講座等を開催する。
取組の概要	千葉市内の公民館および生涯学習センターにおける千葉市民の自主的な学びを促進するため、千葉市教育委員会および千葉市教育振興財団と連携して、当 PF 参加校から人材の紹介・派遣（マッチング）を仲立ちする。

進捗状況	<p>コロナ禍で公民館等の講座も企画中止が続出したが、以下の講師マッチングが実現した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺と心理学（淑徳大学：大橋先生） ・シニア向け英語脳トレ講座（敬愛大学生涯学習講師・名倉先生） ・世界文化遺産を学ぶ講座（敬愛大学生涯学習講師：カルロス先生） <p>なお延期していた中高生向け体幹トレーニング講座（帝京平成大学：齊藤先生）は、2022年度の開催をめざすこととなり、一旦中止となった。</p>
点検・評価	<p>緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用でマッチングが実現した講座は少なくなったが、既に2022年度の講師マッチングの相談も受けており、今後の拡大を期す。</p>

事業計画名	<p>④防災講話の実施 （地域支援連携事業部会の休止により移管）</p>
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	5. 地域の課題解決力の向上（取組1）
取組の概要	<p>講演内容や講師は、千葉市及び千葉市関連団体（避難所運営委員会や公民館事業）の要望を調整し決定する。</p> <p>中長期計画に基づき、年度内4回の実施をする。開催場所は千葉市内大学および大学付随施設、またはPF関連・協力施設。</p> <p>AED講習や救命講習、消火訓練といった体験型講習会も含めて事業を実施。</p> <p>コロナ禍状況を鑑み、対面での講演実施が難しい場合はオンラインでの開催とする。</p>
進捗状況	<p>コロナ禍で講座も延期も生じたが、以下の講師派遣が実現した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴川コミュニティセンター避難所運営委員会（帝京平成大学：鶴本先生） ・稲毛区ボランティアセンター（帝京平成大学：福家先生、敬愛大学：藤森）

点検・評価	<p>昨今の自然災害の増加やコロナ禍を受けての千葉県避難所運営マニュアルの増補（感染症に配慮した運営）もあり、専門知識を持つ講演を3本提供できたことは有意義であったといえる。生涯学習連携事業部会で事業継承したが、公民館等へ講師マッチングとあわせ派遣先の拡大に努め、引き続き地域に必要とされる防災に関する知識・情報の提供を進めていく。</p>
-------	--

(5) 短期大学連携ワーキンググループ

事業計画名	<p>千葉市内に所在する短期大学が連携することで、産学官連携に関する協力体制、共通問題の認識や情報交換、産・官・4年制大学との連携強化を図る。</p>
事業部会名	<p>短期大学連携ワーキンググループ</p>
幹事校	<p>千葉経済大学短期大学部</p>
活動指標	<p>短大間の連携強化 プラットフォーム事業への積極的参加</p>
取組の概要	<p>プラットフォーム事業における短大としてのかかわり方、共通問題認識のための情報交換会の設置。 短大学生をプラットフォーム事業に参加促進する方策や協力体制の検討。 プラットフォームへの「短期大学部会」設置に向けた検討。 新規参入予定の短期大学に対しての情報交換や調整。</p>
進捗状況	<p>メールでの意見交換を何度か行ったところである。 他部会の活動への支援が中心となりつつある。</p>
点検・評価	<p>「短大として」の枠に捉われ、新規事業を立ち上げるには至っていない。 一方で意見交換の場としては残していくことで進めていきたい。</p>

(6) こども子育て支援ワーキンググループ

事業計画名	①子育て支援の連携強化
事業部会名	こども子育て支援連携ワーキンググループ
幹事校	植草学園大学・植草学園短期大学
活動指標	参画校の子育て支援連携会議実施 年4回
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・連携強化のための調査・研究、子育て支援の必要性の掘り起こし及び必要な支援活動の形態を検討する。 ・ちば産学官連携プラットフォーム参画校の子育て支援の連携を図る。
進捗状況	<p>子育て支援連携会議 2021年度6月・9月・11月・2月 4回実施。</p> <p>年度当初は、少しずつ参画校での子育て支援活動も始まっていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために緊急事態宣言、まん延防止等重点処置が実施され、活動休止の状態になった。会議では、参画校の子育て支援の現状報告が行われた。</p>
点検・評価	<p>2022年1月頃から徐々に、利用人数を制限して支援活動が始まってきているが、本格的な稼働はできていない状況である。子育て支援連携会議も4回実施でき、連携を図ることができた。調査・研究、子育て支援の必要性の掘り起こし及び必要な支援活動の形態においては、次年度検討していきたい。</p>

事業計画名	②子育て支援共同講座の開設・運営 「ちばこども子育てすぽっと」YouTubeチャンネルでの配信
-------	--

事業部会名	こども子育て支援連携ワーキンググループ
幹事校	植草学園大学・植草学園短期大学
活動指標	子育て講座の共同実施 年6回
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から学童期を通じたこどもの発達に伴う親としての成長を支えるため、共同講座の開設・運営について検討する。 ・乳幼児期の親向けの講座（年6回開催） 講座テーマ「乳幼児期から学童期の子育てについて」
捗状況	<p>① 「こどもキッチンをつくろう」千葉明德短期大学 子育て支援プロジェクトチーム 1-キッチンの空間と食べ物をつくる 2-シンクと調理台をつくる 3-収納とキッチン 3-収納とキッチン小物をつくる</p> <p>②「親子で見つけてみよう！ 身近にある子どもの好きな世界～ダンゴムシ編～」 植草学園短期大学 久留島太郎准教授</p> <p>③「きょうだいげんかの対応」千葉経済大学 短期大学部 小倉定枝教授</p> <p>④-①「あかずきんちゃん エプロンシアター」植草学園大学 入澤里子教授 -②「パネルシアターをつくろう」植草学園大学 實川慎子准教授 -③「腰痛予防編 子育てしながらエクササイズ」植草学園大学 窪谷珠江 助手 -④「親子で運動あそび」植草学園大学 鈴木瑛貴講師</p> <p>⑤-①「絵本のある子育て」千葉敬愛短期大学 伊藤祐子准教授 -②「紙芝居 あかいはっぱ」千葉敬愛短期大学 大野雄子教授 -③「手作り紙芝居シアターで楽しもう！」千葉敬愛短期大学 岡崎裕美教授</p> <p>⑥「コミュニケーションの本質とサポートの手がかり」淑徳大学 池畑美恵子 准教授</p>
点検・評価	<p>対面形式に変わる YouTube チャンネル「ちばこども子育てすぽっと」によるオンデマンドでの子育て講座を11回開催することができた。各講座へのアクセス数は①-1 113回</p> <p>① -2 79回 ①-3 75回 ②84回 ③87回 ④-① 691回 ④-② 119回 ④-③ 72回 ④-④ 76回 ⑤-① 91回 ⑤-② 114回 ⑤-③ 101回 ⑥-42回 累計 1,774回となっている。(2022年5月30日現在)</p>

(7) オンライン授業・遠隔授業サポートワーキンググループ

事業計画名	オンライン授業・遠隔授業サポート
事業部会名	オンライン授業・遠隔授業サポートワーキンググループ
幹事校	帝京平成大学
活動指標	新型コロナウイルス感染症の流行により、多くの大学・短大で、オンライン授業・遠隔授業が導入され、対面授業と併用の形式で実施されていることを鑑み、各校が有するノウハウやマニュアル等を共有するとともに、オンライン授業・遠隔授業に関わる教職員の支援、学生への支援を検討する。
取組の概要	<p>① 各参加校のオンラインを活用した遠隔授業のノウハウの集約と共有</p> <p>② 遠隔授業に係る技術的な点での支援の在り方の検討</p> <p>・FD/SD研修会を計3回開催する（各回3名の講師を招聘予定）。</p>
進捗状況	<p>神田外語大学と植草学園大学にご提供頂いた資料を改訂しながら、Zoom マニュアル、Google Classroom の利用方法、Google Classroom に関する Q&A、オンライン授業ノウハウ集を作成し、年度末に各参加校に配布した。</p> <p>上記4つの作成物を基に、9月15日に敬愛大学にて ICT を用いた同時双方向型の遠隔授業に関する共同 FD/SD 研修会を開催し、オンデマンド配信も行った。</p>
点検・評価	<p>各参加校のオンラインを活用した遠隔授業のノウハウを集約し、FD/SD 研修会を1回開催することができた。また、作成物を各参加校に共有することができた。</p> <p>遠隔授業に係る技術的な点での支援の在り方の検討は、各校で使用しているシステムが異なる等、共同でシステム開発することは困難であった。</p>

(8) 大賀ハス開花 70 周年記念事業ワーキンググループ

事業計画名	千葉市「大賀ハス開花 70 周年記念事業」への参画 (プラットフォームが設置する、自治体・産業界等が参加する会議体)
事業部会名	大賀ハス開花 70 周年記念事業ワーキンググループ
幹事校	千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部
活動指標	
取組の概要	<p>① プラットフォームに参画する学生が主体となって、「大賀ハス開花 70 周年記念事業実行委員会」と連携を図りつつ、若年世代間での「大賀ハス開花 70 周年記念事業」の機運を醸成する活動を展開する。</p> <p>② 市内の大学・短大に在学する、もしくは市内在住の若年世代を対象に千葉市の都市アイデンティティのひとつである「大賀ハス」の普及と啓発を行う。</p>
進捗状況	<p>2021 年 10 月に千葉市・千葉商工会議所が参加する形でワーキンググループを設置した。(期間は 2023 年 3 月末日まで)</p> <p>千葉市の都市アイデンティティ(地域資源)の一つである「大賀ハス」が、2022 年に開花 70 周年を迎えることから、ワーキンググループの事業として、参画校の学生を主体とした学生ワークショップ(全 5 回を予定)を企画、第 1 回目のワークショップを 2022 年 2 月に実施した。</p> <p>2022 年度は、2022 年 7 月までに残り 4 回の学生ワークショップを実施予定であり、その中で学生企画の実施を行う予定である。</p>
点検・評価	<p>プラットフォームとして、テーマに基づく自治体・産業界が参加するワーキンググループの設置は、今回が初めてとなる。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学生ワークショップの運営については、対面・オンライン併用のハイブリッド方式となった。第 1 回目の参加学生数は 15 名であった。</p> <p>2022 年度は、大賀ハス開花 70 周年であることから、引き続き千葉市(大賀ハス開花 70 周年記念事業実行委員会)・千葉商工会議所と連携しながら事業を進めていきたい。</p>